

JET からの手紙

ALT の弓道家

札幌市教育委員会 外国語指導助手
Kathy Zhang (キャシー・ジャン)

弓道への道のり

これまで、私はバイオリンや絵画、フェンシングなど、色々な習い事に挑戦してきましたが、弓道ほど夢中になれるものはありませんでした。弓道はとてもやりがいがあり、これだけ熱中できる趣味を見つけられたことが、人と出会うこと、新しく経験すること、そして日本語や日本文化を学ぶことなどの素晴らしい出来事につながっています。

JET プログラムに参加する数年前、大阪大学での留学中に外国語学部弓道部で弓道を体験しました。2023 年に、JET プログラムの面接で「日本に住んでいる間にやりたいことや経験したいことは何ですか？」と聞かれたとき、「弓道をやり続けたいです」と答えました。

札幌で定めた狙い

ALT (外国語指導助手) として JET プログラムに参加し、札幌市の中学校で教えることになりました。JET 参加者のコミュニティとのつながりのおかげで、来日してからすぐに、武道を学んでいる他の外国人と連絡を取ることができ、引っ越して 1 カ月も経たないうちに弓道場を紹介されました。そのときは、自分の興奮を抑えられないほどでした！

留学時の経験、数カ月にわたる毎週の稽古、そしてまわりの皆さんのおかげで、2024 年 5 月に初段審査に合格することができました。(第 77 回北海道弓道大会)



先生と仲間と

その 1 週間後、先生と弓道の仲間と一緒に、第 77 回北海道弓道大会に初出場しました。全ショットを外しましたが、今振り返ると懐かしい思い出です。

2024 年 6 月 15 日には、第 66 回北海道神宮例大祭古式大式的に参加しました。この式は、平安時代に始まったもので、邪気を払うために行われます。私は、史上初めて参加した最初の外国人の 1 人とのことで、とても光栄に思っています。今年も、参加するつもりです。

さらに数カ月の練習と弓道大会の後、2025 年 2 月に二段審査に合格しました。チャレンジングではありますが、今年の 9 月に小樽市で行われる三段審査を受けることが目標です。



第 66 回北海道神宮例大祭古式大式的

成果と課題

大学でも道場でも弓道を通じて出会った方々は、とても親切で、忍耐強く弓道と日本文化の両方を教えてくれました。その中には、英語が話せる方もいました。幸運なことに、錬士六段である先生に出会うことができ、知識が豊富なだけでなく、外国の文化に強い関心を持って

おり、以前は外国人を教えたこともあるそうです。このコミュニティには本当に感謝しています。この2年間で、みんなとより深く知り合うことができ、とても充実しています。仲間がいなければ、弓道でここまで上達することができず、今のようにこんなに日本を楽しむこともできなかっただろうと思います。



2025年4月
弓道の練習の様子

その一方で、大変なときもありました。弓道は日本人でも学ぶことが難しい武道であるため、言葉の壁による支障を感じるときもあります。悔しいことがあっても、それをモチベーションにして、言語や文化をもっと勉強しようとしています。

文化交流の的に向けて

弓道を楽しめることは予想していましたが、ALTの業務も、自分が想像していた以上に情熱を注いで取り組んでいます。来日する前は、仕事で子どもたちと接する経験がなかったため、緊張していました。しかし、自分がどれだけ子どもが好きなのかを知りました。何よりも、生徒たちと過ごすことが、こんなに楽しいことだとは思いませんでした。生徒たちのおかげで毎日が充実しており、仕事を楽しんでいます。気分がすげれないときでも、生徒が私を励まし、笑顔にさせてくれます。



漢服を着て旧正月について教える

ALTとして週に20コマ程度教えており、生徒たちが学んだことを復習するために、面白い新たなアクティビティーを考え出すことに全力を尽くしています。レベルに関係なく楽しめ、笑いを誘いつつも新しいことを学べるような、やりがいのあるゲームや活動を工夫するよう心がけています。

文法の復習をする以外の時間には、衣装を着たり、イベントを開催したりしています。カナダの学校では、パジャマの日や帽子の日など、学校生活をより楽しくするための行事が時々あったため、日本でもその文化を紹介したいと思いました。例えば、ハロウィーンの時期にはコスチュームを着て、生徒たちが「トリック・オア・トリート」と言うとステッカーを渡したりしました。これこそ、文化交流と言えると思います！

未来に向かって

学校での授業の他には、英語研究大会に参加したり、小学校や幼稚園でALT活動をしたりしました。また、第44回全道中学校英語暗唱大会に審査員として参加しました。英語教育のさまざまなかたちを見ることができ、とても興味深かったです。日本にいた間、このようなイベントにもっと参加したいと思っています。

将来は、高校でも教えたり、その弓道部のメンバーと一緒に弓道を練習したりしたいです。いつか錬士になり、弓道を西洋でもっと流行らせたいと思っています。

プロフィール



Kathy Zhang
(キャシー・ジャン)

カナダ・オンタリオ州ハミルトンで中国系移民の子として生まれ育ち、若い頃からアニメなどを通して日本語や日本文化に強い興味を持ってきた。日本への興味を追求するうちに、高校時代にJETプログラムの存在を知り、いつか参加したいと思うようになった。マックマスター大学で生物学を専攻し、2017年から2018年まで日本文化クラブ(MJC)の会長を務めた。カナダで実務経験を積んでから、2023年にJETプログラムに参加することになった。今後もあらゆる年齢の子どもたちと接し、異文化を学びきっかけを作りたいと考えている。